



SNS時代における広報戦略

日時・会場	【大阪】 大阪ガーデンパレス 定員:60名 2020年6月22日(月) 13:00 ~ 16:15	【東京】 東京ガーデンパレス 定員:60名 2020年6月29日(月) 13:00 ~ 16:15
	講師 高倉 聡 氏 [スクールプランナー 高倉聡オフィス 代表] 村杉 若穂 氏 [和洋女子大学 広報センター事務室室長]	

(会場は、大阪・東京いずれかご都合のよい方をお選び下さい。)

本セミナーの概要

少子化の中、受験生獲得競争が年々厳しさを増し、各校では様々な広報活動を展開し他校との差別化に力が入るところです。中でもインターネット社会の発展に伴う SNS の活用による「情報の発信・共有・拡散」はその影響力も大きく、今後の学園広報のあり方にとっても非常に重要な要素となっています。それだけに、いかに効果的な発信ができるか、広報担当者の企画力、実行力が問われるところでもあります。

そこで本セミナーでは、高倉・村杉両講師より SNS 時代における広報戦略のあり方について、それぞれのお立場からご提言をいただきます。

私学理事者をはじめ広報担当者の皆様の多数ご参加をお待ち申し上げます。

申込要領

申込方法 本会ホームページ (<https://sikeiken.or.jp/>) の「セミナー申込フォーム」からお申込みいただくか、Eメールに必要事項(参加日、学園名、住所、参加者の役職、氏名)をご記入のうえ、お申込み下さい。
申込書に記載された学園名、ご住所、役職名、ご氏名等の個人情報は、参加証・請求書・領収書等の発送のために使用します。

参加料 本会の会員は、大阪・東京いずれかご1名様のみ無料です。ただし、追加ご1名様の参加料は5,500円です(消費税込)。なお、追加参加料は、請求書をご確認の上、銀行振込でセミナー開催日前までにお納め下さい。

主催 公益社団法人 私学経営研究会 事務局
533-0033 大阪市東淀川区東中島1丁目21番33号 俵ビル3階
TEL. 06-6321-2666 / FAX. 06-6321-3207
E-mail: skkseminar@sikeiken.or.jp

大阪会場 大阪ガーデンパレス
大阪市淀川区西宮原1-3-35
TEL. 06-6396-6211

東京会場 東京ガーデンパレス
東京都文京区湯島1-7-5
TEL. 03-3813-6211

大阪会場



東京会場



13:00 ~ 14:30

有効な学校 SNS とは？ その現状と課題

講師 高倉 聡 氏

- 1 SNS の現状理解
 - ・ 流行の SNS × 広報戦略に直結しない
 - ・ アカデミックな内容 × ターゲットニーズに合わない
- 3 SNS 時代だからこそ大切なこと
 - ・ 炎上などリスクマネジメントのポイント
 - ・ アナログ戦略を侮らない

本内容は最新手法ではなく、学校 SNS の学び直しに視点をおいたセミナーとなります。

- 2 学校事例から考える
 - ・ 単に伝えるだけでは伝わらない
 - ・ 徹底解説 良い事例 悪い事例

14:45 ~ 16:15

SNS 時代における広報戦略 ~ 和洋女子大学広報センターの活用事例からの考察 ~

講師 村杉 若穂 氏

1. SNS を広報ツールとして活用
 - 大学の活用事例
 - twitter を使ってみる
 - マーケティングツールとしての考え方
2. スマートフォンと SNS と大学広報の親和性
 - 誰もが情報配信可能な時代
 - 情報伝達の仕組みの特性を考える
 - 他メディアとの連携
3. SNS の効果を考える
 - 誰に届く、誰に届いている、その効果と反応
 - 受験生確保につながるのか
4. SNS を使った広報活動の課題
 - 担当は誰が行うのか
 - 炎上問題とフェイクニュース
 - 新たな SNS ツールについて

講師紹介

たかくら さとし
高倉 聡 氏

（スクールプランナー
高倉聡オフィス 代表）

専門学校・大学等の学校職員として、広報責任者等を歴任。学校コンサルタント会社を経て、2010年独立。数々の学校において、学生募集の改善・学校案内等の広報ツール企画制作に従事。また、長年に渡り業界屈指の高校訪問勉強会主宰・日本経営協会学生募集セミナー講師・進学情報誌特別記事企画執筆・大学等学生募集研修・高校進路講話等にも携わる。

むらすぎ わかほ
村杉 若穂 氏

（和洋女子大学
広報センター事務室室長）

1983年東海大学文学部日本文学科卒業。
3年間高校教員を務めた後に専門学校に勤務し、コンピュータ、インターネットを利用した学科の立ち上げに関わる。法人企画調査室にて、学生募集、企業連携などのサポートを行う。
2012年から学校法人和洋学園広報部門にて学生募集を担当し、現在に至る。